ダイハツ純正

CUK-W69D
(08600-K9033)

ワイドシンプル CD/USB チューナー

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

ダイハツ工業株式会社

Designed for Windows Media™

Made for iPhone | iPod

Bluetooth®

B5A-2904-20 (J)

安全上のご注意（必ずお守りください）

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

⚠警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

	注意（しなければならない）の内容です。
	禁止（してはいけない）の内容です。
	実行（かならず行っていただく）の内容です。

取り付けや配線について

⚠警告

本機はDC12V⊖アース車以外で使用しない
火災や故障の原因になります。DC24V車（大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など）で使用しないでください。

エアバックの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない
エアバックが誤動作し、死亡事故の原因になります。エアバック装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。

取り付けやアース配線に車の保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットを絶対に使用しない
制御不能や発火、交通事故の原因となります。

視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない
交通事故やケガの原因となります。

取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する
取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をすると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

説明書に従って取り付け・配線をする
火災や故障の原因となります。作業は手順とおりに正しく行ってください。

作業前に必ずバッテリーの㊀端子を外す
外さずに作業をするとショートによる感電やけがの原因となります。

作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する
車体に穴を開けて取り付ける場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。

必ず付属の部品や指定の部品を使用する
機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する
断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する
被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電､故障の原因となります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる
車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。

ねじなどの小物部品は乳幼児の手の届かないところに置く
あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠注意

自動車のコンソールに取り付ける
本機の使用中または使用直後は､本機の背面や側面などの金属部分が高温になっています。直接触れるとやけどの原因となることがあります。取り外すときなどご注意ください。

直射日光やヒータの熱風が直接当たる場所に取り付けない
機器の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない
水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

機器の通風口や放熱板をふさがない
機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

コードの扱いに注意する
コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

使用方法について

⚠警告

分解・修理および改造はしない
分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。

音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない
車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

使用方法について

⚠警告

機器内部に、水や異物を入れない
金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。

故障や異常な状態のままで使用しない
画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。

運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない
必ず安全な場所に車を停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない
落雷による感電の原因となります。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口に依頼してください。

⚠注意

本機を車載用以外で使用しない
発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。

使用中または使用直後は放熱器にふれない
本機の使用中または使用直後は、本体の背面や側面などの金属部分が熱くなっています。本機を取り外すときは、直接触れることはお止めください。やけどをする場合があります。

可動部やディスク挿入口に手や指を入れない
モニター開閉や角度調整の時にはご注意ください。けがの原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

⚠警告

異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口に相談する
そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

使用上のご注意

本機を使用していただくうえで、知っておいていただきたいことです。

温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。本機内部が60℃を超える高温になると、保護回路が動作して再生ができなくなります。このようなときは、車内の温度を下げると、保護回路が解除され、再生できるようになります。温度が下がっても正常に動作しないときは本機のリセットボタン(➜ P.8)を押してください。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露(水滴)が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、お買上げの販売店にご相談ください。

オートアンテナ付き車に取り付けた場合は

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、本機の電源をオンすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、音源を"STANDBY"に切り替えてください。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

お手入れについて

本機の操作パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与える場合があります。また、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

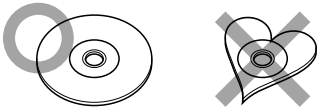
ディスクの使用上のご注意

- ディスクが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。レコード用クリーナー、静電防止剤やシンナー、ベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。
- 本機からディスクを取り出すときは、ディスクを下側に強く押さず、水平方向に引き出してください。ディスクを下側に押すと、記録面に傷を付ける原因となります。
- 新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールおよび外周部に"バリ"がないことを確認してください。"バリ"がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因になります。"バリ"があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。
- 音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー(スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど)は使用しないでください。故障の原因となります。
- 8cmCD、アダプターは使用できません。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

使用できないディスク

以下のディスクは使用しないでください。

- 特殊な形状のディスク。円形以外のディスクは、故障の原因になります。



- 記録面(レーベル面の裏)に着色や汚れがあるディスク。引き込まれない、取り出せないなどの誤動作の原因になります。記録面には触れないようにお取り扱いください。
- マークのないディスク。
  正しく再生されない可能性があります。
- ファイナライズ処理していないCD-R、CD-RW。お使いのCD-R/CD-RWライティングソフト、CD-R/CD-RWレコーダーの取扱説明書を参照して、記録を行った機器以外のプレーヤーでも再生できるようにするための処理(ファイナライズ処理)を行ってください。ただし、CD-R/CD-RWはファイナライズ処理をしていても、記録状態によって再生できない場合があります。
- 汚れ、傷、ゴミのついたディスク、反りのあるディスク。音飛びなどの誤動作や音質劣化の原因になることがあります。
- 表面に紙テープなどが貼られたディスク、ラベルのノリがはみ出したディスク。ディスクが取り出せなくなったり、本機が故障することがあります。

表示できる文字について

英大文字、数字といくつかの記号が表示できます。表示できない文字は、"_"表示となります。

異常にお気づきのときは(リセット方法)

本機の異常にお気づきのときは、「故障かな?と思ったら」(➔ P.30)を参照して解決方法をお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタン(➔ P.8)をペン先などで押してください。リセットボタンを押しても正常に戻らないときは、本機の電源を切り、お買上げの販売店へご相談ください。

その他

- 偏光サングラスを使用すると、視認性が低下する場合があります。

電波について

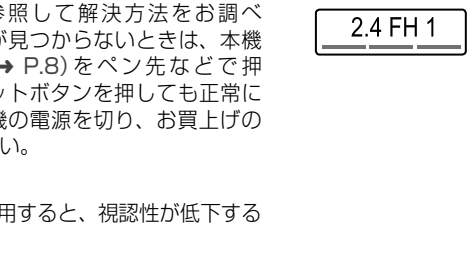
- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています(受けた部品を使用しています)。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。また、本機は、電気通信事業法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
  - 分解/改造すること
  - 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- 本機は2.4GHz帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

- 製品に表示している周波数表示の意味は下記の通りです。



- 使用可能距離は見通し距離約10 mです。鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。
- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
  - 2.4GHzの周波数帯域を利用する無線LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
  - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CSチューナー、VICSなどのアンテナ入力端子を持つAV機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。
- 本機は電波を使用しているため、第3者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

もくじ

安全上のご注意 (必ずお守りください) 2
使用上のご注意.....5
基本操作.....8
日付と時刻を合わせる.....8
ステアリングスイッチを使う 9
ラジオを聞く 10
交通情報を聞く.....11
CD/USB/iPod/Android を聞く.....12
外部接続機器を聞く.....16
Bluetooth 機器を使う 17
音質を設定する.....24
ディスプレイの表示を設定する 26
設定を変更する.....28
その他の情報 29
故障かな？と思ったら.....30
仕様.....33
保証とアフターサービス.....34
特許権 / 著作権 / 商標など 35
ソフトウェアについて.....36

この取扱説明書の見かた

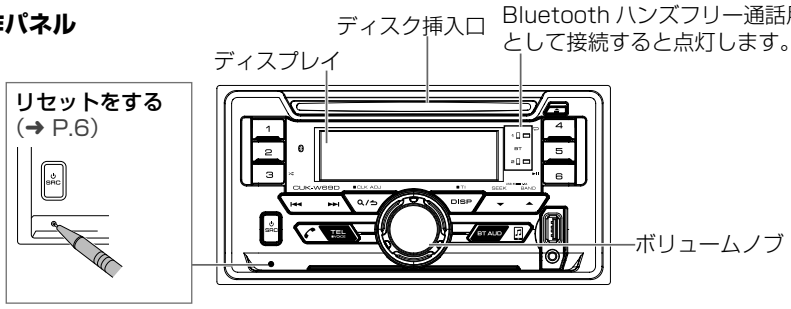
- 操作は本体の操作パネル上のボタンを使って説明しています。
- 操作パネルのボタンは、 を [⏻ **SRC**] のようにボタン名に [ ] を付けて表示しています。
- (➜ P.XX) は、本文中の参照ページを示しています。

免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

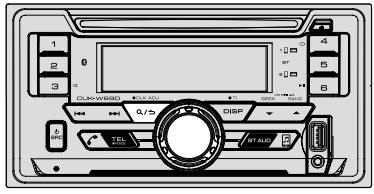
基本操作

操作パネル



動作	操作パネル
電源をオン / オフする	[⏻ **SRC**] を押す　押し続けると電源がオフになります。
音量を調整する	ボリュームノブを回す
音源を切り替える	[⏻ **SRC**] を押すたびに音源が切り替わります。
ディスプレイの表示を切り替える	[**DISP**] を押すたびに表示が切り替わります。(➜ P.27)

日付と時刻を合わせる



1 [🔍/⮌]を押し続ける

2 ボリュームノブを使い(回して選択、押して確定)「時」➡「分」の順番で時間を合わせる

3 ボリュームノブを使い(回して選択、押して確定)「日」➡「月」➡「年」または「月」➡「日」➡「年」の順番で日付を合わせる

- 時刻は **"FUNCTION"** モードの "**CLOCK**" の "**CLOCK ADJUST**" からも設定できます。
- 日付は **"FUNCTION"** モードの "**CLOCK**" の "**DATE SET**" からも設定できます。

● 12 時間表示または 24 時間表示を変更する

1 ボリュームノブを押して"**FUNCTION**"モードに入る

2 ボリュームノブを回して"**CLOCK**"を選び、ボリュームノブを押す

3 ボリュームノブを回して"**CLOCK FORMAT**"を選び、ボリュームノブを押す

4 ボリュームノブを回して"**12H**"または"**24H**"を選び、ボリュームノブを押す

● 年月日の表示を変更する

1. ボリュームノブを押して"**FUNCTION**"モードに入る
2. ボリュームノブを回して"**CLOCK**"を選び、ボリュームノブを押す
3. ボリュームノブを回して"**DATE FORMAT**"を選び、ボリュームノブを押す
4. ボリュームノブを回して"**DD/MM/YY**"（日/月/年）または"**MM/DD/YY**"（月/日/年）を選び、ボリュームノブを押す

• [🔍/⮌] を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。

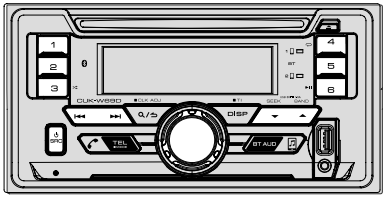
ステアリングスイッチを使う

ステアリングスイッチが装着されている場合、ステアリングスイッチから本機を操作することができます。

- 📞と＊スイッチは車両により対応していない場合があります。
- 一部の車両では下記以外のスイッチが装備されている場合があります。その場合、表示と動作が異なる、または動作しない場合があります。

項目	説明
🔊 / 🔉	AVの音量を調整(0～35)します。 ハンズフリー電話中は、着信音量と受話音量を調整(0～35)します。
< / >	• FM/AM： 周波数が切り替わります。 切り替わり方はSEEKモードの設定（**AUTO1**,**AUTO2**または**MANUAL**）により異なります。 **AUTO1**：放送局を自動的に受信します。 **AUTO2**：登録されている放送局を順番に受信します。 **MANUAL**：1ステップずつ周波数が切り替わります。押し続けると連続して周波数が切り替わります。 • 交通情報： 1620 kHzまたは1629 kHzを切り替えます。 • 音楽再生： 前/次の曲またはファイルを再生します。 押し続けると、早送り/早戻しします。
MODE	• 音源を切り替えます。 ディスクが挿入されていない場合や機器が接続されていないなど、選択できない音源はスキップされます。 • 押し続けると「STANDBY」になります。もう一度押すと元のソースに戻ります。
📞	• ハンズフリーの電話を受け付けます。通話中に押すとハンズフリーの電話を切ります。(Bluetooth 接続中) • 押し続けるとスマートフォンの音声認識機能が起動します。
*	AVソースの音量を一定量下げます。もう一度押すと元の音量に戻ります。

ラジオを聞く



放送局を探す

1 [⏻ **SRC**]を繰り返し押して**RADIO**を選ぶ
2 [▲] (BAND)を繰り返し押して、FM1、FM2、AM1、またはAM2を選ぶ
3 [|◄◄]/[►►|]を押して、放送局を探す

● **[|◄◄]/[►►|] の選局方法を変える**

1 [▼] (SEEK)を押す

押すたびに以下のモードに切り替わり、[|◄◄]/[►►|] を押したときの選局方法が変わります。

AUTO1：放送局を自動的に受信します。

AUTO2：登録されている放送局を順番に受信します。

MANUAL：1 ステップずつ周波数が変わります。

放送局をプリセットする

● **手動でプリセットする**

1 プリセットしたい放送局を受信する
2 プリセットしたい数字ボタン[1] ～ [6]を押し続ける

"STORED" と表示され放送局が登録されます。

● **自動で登録する**

"PRESET TYPE" の設定が **"NORMAL"** に設定されているときのみ、この機能を使用できます。(➜ P.28)

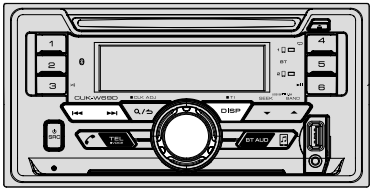
1 ボリュームノブを押して**"FUNCTION"**モードに入る
2 ボリュームノブを回して**"TUNER SETTING"**を選び、ボリュームノブを押す
3 ボリュームノブを回して**"AUTO MEMORY"**を選び、ボリュームノブを押す
4 ボリュームノブを回して**"YES"**を選び、ボリュームノブを押す

FM ステレオ放送をモノラルで受信する

受信状態が悪いときなど、FM ステレオ放送をモノラルで受信して雑音を軽減することができます。

1 ボリュームノブを押して**"FUNCTION"**モードに入る
2 ボリュームノブを回して**"TUNER SETTING"**を選び、ボリュームノブを押す
3 ボリュームノブを回して**"MONO SET"**を選び、ボリュームノブを押す
4 ボリュームノブを回して**"ON"**を選び、ボリュームノブを押す

交通情報を聞く



1 [**DISP**]（TI）を押し続ける

交通情報が受信されます。

もう一度 [**DISP**]（TI）を押し続けると、交通情報受信前の状態に戻ります。

交通情報受信中は “TI” 表示が点灯します。

● 交通情報の受信周波数を切り替える

1 交通情報を受信中に[|◄◄]/[►►|]を押す

受信周波数が 1620 kHz または 1629 kHz に切り替わります。

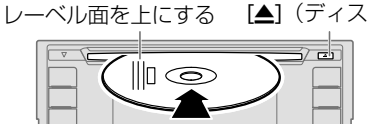
- 交通情報を受信中に音量を調節すると、その音量が自動的に記憶され、次に交通情報を受信したときも同じ音量で聞くことができます。
- 音源が IPOD USB で、**“MODE ON”** が選ばれているとき（➜ P.13）は、交通情報が終了しても iPod の再生は自動的には始まりません。再生を始めるには、[**6**]（**►II**）を押してください。

CD/USB/iPod/Android を聞く

再生する

CD

ディスクを挿入すると音源が CD に切り替わり再生が始まります。



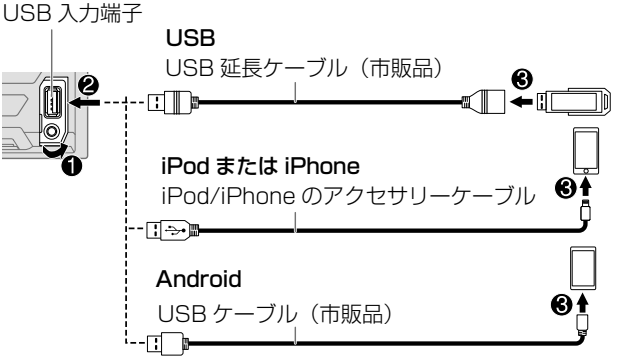
USB/iPod/Android

USB/iPod/Android を接続すると音源が以下のように切り替わり自動で再生が始まります。

USB：**USB**　　iPod：**IPOD USB**　　Android：**ANDROID**

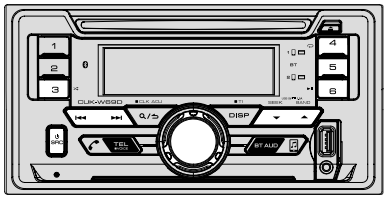
- USB 接続した機器は、音楽再生が可能な状態のときのみ、自動で再生が始まります。
- 音源が **ANDROID** の場合は、曲の選択などの操作は Android 機器で行ってください。
- Android 機器は、OS4.1 以降であっても機器によっては AOA2.0 に完全に対応していない場合があり、本機で再生できないことがあります。

● USB 機器を接続する



ご注意

- 接続ケーブルは車内に放置しないでください。
- USB は USB 延長ケーブルを使用せずに接続すると USB が突起物となり危険です。USB 延長ケーブル（市販品）を使用して接続してください。
- 接続機器および接続ケーブルは、運転を妨げないように引き回し、固定してご使用ください。



動作	操作パネル
再生 / 一時停止をする	[**6**]（▶II）を押す
早戻し / 早送りをする	[I◀◀]/[▶▶I] を押し続ける
曲またはファイルを選ぶ	[I◀◀]/[▶▶I] を押す
フォルダーを選ぶ *1	[▲]/[▼] を押す
リピート再生をする *2	[**4**]（⮌）を繰り返し押す **TRACK REPEAT/ALL REPEAT** ：音楽 CD **FILE REPEAT/FOLDER REPEAT/ALL REPEAT** ：MP3/WMA/WAV/FLAC ファイル **FILE REPEAT/FOLDER REPEAT/REPEAT OFF** ：iPod または Android
ランダム再生をする *2	[**3**](⤮) を繰り返し押す **DISC RANDOM/RANDOM OFF** ：音楽 CD **FOLDER RANDOM/RANDOM OFF**：MP3/WMA/WAV/FLAC ファイル、iPod [**3**](⤮) を押し続けて、**ALL RANDOM***3 を選ぶ • ランダム再生を中止するには、[**3**](⤮) を押して **RANDOM OFF** を選びます。

*1 CD は、MP3/WMA ファイルのみ使えます。iPod または Android では使えません。
*2 iPod は、**"MODE OFF"** のときのみ使えます。
*3 CD は、MP3/WMA ファイルのみ使えます。

iPod の操作モードを選ぶ

iPod から操作するか、本機で操作するかを選びます。

1 iPod接続して[**5**]を繰り返し押す
MODE ON：iPod から操作します。再生 / 一時停止、曲やファイルの選択、早送りまたは早戻しは本機からも操作可能です。
MODE OFF：本機から iPod を操作します。

MUSIC DRIVE を選ぶ (USB のみ)

音源が **USB** のときに、外部メモリー（マスストレージクラス）やマルチドライブ機器中の選ばれたドライブなど、再生するドライブを操作パネルのボタンまたは設定メニューで選ぶことができます。

● 操作パネルのボタンで選ぶ

1 USB機器を接続して[**5**]を繰り返し押す

● 設定メニューで選ぶ

1 ボリュームノブを押して**"FUNCTION"**モードに入る
2 ボリュームノブを回して**"USB"**を選び、ボリュームノブを押す
3 ボリュームノブを回して**"MUSIC DRIVE"**を選び、ボリュームノブを押す
4 ボリュームノブを回して再生するドライブを選び、ボリュームノブを押す

再生したいファイルを選ぶ

フォルダーまたはリストからファイルを選ぶ

iPod は操作モードが **"MODE OFF"** のときのみ使えます。(➜ P.13)

1 [🔍/⮌]を押す
2 ボリュームノブを回してフォルダーまたはリストを選び、ボリュームノブを押す
3 ボリュームノブを回してファイルを選び、ボリュームノブを押す
ファイルの再生がはじまります。

● スキップサーチ（IPOD USB/IPOD BT のみ）

ファイルのリストなどを表示しているときに [I◄◄]/[►►I] を押すとリストが **"SKIP SEARCH"** で設定された割合で表示がスキップします。

1 [🔍/⮌]を押す
2 ボリュームノブを回してフォルダーまたはリストを選び、ボリュームノブを押す
3 [I◄◄]/[►►I]を押す
[I◄◄]/[►►I] を押し続けると、設定された割合で連続して表示がスキップします。

"SKIP SEARCH" の設定をする

1 ボリュームノブを押して**"FUNCTION"**モードに入る
2 ボリュームノブを回して**"USB"**を選び、ボリュームノブを押す
3 ボリュームノブを回して**"SKIP SEARCH"**を選び、ボリュームノブを押す
4 ボリュームノブを回して検索する速さ(**0.5%/ 1%/ 5%/ 10%**)を選び、ボリュームノブを押す
ファイルの割合は総ファイル数との割合を%で表示しています。お買い上げ時は 0.5%に設定されています

● クイックサーチ（CD/USB のみ）

1 [🔍/⮌]を押す
2 ボリュームノブを回してフォルダーまたはリストを選び、ボリュームノブを押す
3 ボリュームノブを速く回す
検索スピードが上がります。

● アルファベットサーチ（IPOD USB/IPOD BT のみ）

ファイルの頭文字で検索できます。

1 [🔍/⮌]を押す

2 ボリュームノブを回してフォルダーまたはリストを選び、ボリュームノブを押す

3 ボリュームノブを一度素早く回して、文字検索を始める

4 ボリュームノブを回して文字を選ぶ

A ～ Z または 0 ～ 9 以外の文字の場合は、"*****" を選びます。

5 次の文字も入力してから検索するには、[|◄◄]/[►►|]を押して、入力位置を移動する

3 文字まで入力できます。

6 ボリュームノブを押す

検索がはじまり、検索した文字が含まれるまたは文字に近い（アルファベット順）ファイルが表示されます。

7 ボリュームノブを押す

再生がはじまります。

・[🔍/⮌] を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。

Bluetooth 接続で iPod/iPhone を聞く

本機では Bluetooth 接続で iPod/iPhone の曲を聞くことができます。

1 iPod/iPhoneをBluetooth接続で接続する（➜ P.17）

2 [⏻ **SRC**]を繰り返し押して**IPOD BT**を選ぶ

・USB 入力端子接続の iPod/iPhone と同じように操作することができます。（➜ P.12）

・IPOD BT の音源を再生中、USB 入力端子に iPod/iPhone を接続すると、自動的に IPOD USB に切り替わります。

外部接続機器を聞く

● 準備

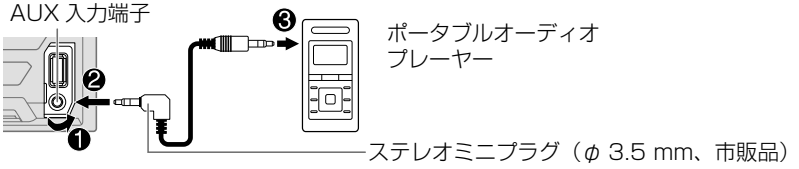
・ **"SYSTEM"** 設定の **"SOURCE SELECT"** の **"BUILT-IN AUX"** を **"ON"** にします。(➜ P.28)

ご注意

・接続ケーブルは車内に放置しないでください。
・接続機器および接続ケーブルは、運転を妨げないように引き回し、固定してご使用ください。

再生する

1 ポータブルオーディオプレーヤー(市販品)を接続する



2 [⏻ **SRC**]を繰り返し押して**AUX**を選ぶ

3 ポータブルオーディオプレーヤーの電源をオンにして、再生を始める

外部機器の名前を設定する

本機に接続されている外部機器の名称を変更することができます。

1 接続されているポータブルオーディオプレーヤーを再生する

2 ボリュームノブを押して**"FUNCTION"**モードに入る

3 ボリュームノブを回して**"SYSTEM"**を選び、ボリュームノブを押す

4 ボリュームノブを回して**"AUX NAME SET"**を選び、ボリュームノブを押す

5 ボリュームノブを回して設定したい名前を以下の6つから選び、ボリュームノブを押す
AUX（初期設定）/**DVD**/**PORTABLE**/**GAME**/**VIDEO**/**TV**

・[🔍/⮌] を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。

Bluetooth 機器を使う

Bluetooth 機器について

- Bluetooth のバージョンによっては、本機と接続できないことがあります。
- Bluetooth 機器によっては、本機で使用できないことがあります。
- 周囲の環境により、接続環境も異なります。

● 対応している Bluetooth のプロファイル

- Hands-Free Profile（HFP）
- Advanced Audio Distribution Profile (A2DP)
- Audio/Video Remote Control Profile（AVRCP）
- Serial Port Profile（SPP）
- Phonebook Access Profile（PBAP）

● 対応している Bluetooth のコーデック

- Sub Band Codec（SBC）

Bluetooth 機器をはじめてペアリング・接続する

1 ペアリングする機器のBluetooth設定をオンにする

2 Bluetooth機器で**CUK-W69D**を選ぶ

3 “PAIRING” ➡ “PASS XXXXXX” ➡ 機器名 ➡ “PRESS” ➡ “VOLUME KNOB”とディスプレイに表示されたらボリュームノブを押す

ペアリングが開始されます。ペアリングが完了すると “PAIRING OK” と表示され Bluetooth 接続されます。

- 本機は 5 台まで登録（ペアリング）できます。
- 本機に Bluetooth 機器を登録（ペアリング）すると 2 台まで自動でハンズフリー通話用として接続（待ち受け状態）されます。また、最後に本機に登録（ペアリング）した機器は、BT AUDIO（音源）再生する機器として接続されます。登録した機器の接続、解除については、22 ページの **“PHONE SELECT”** または **“AUDIO SELECT”** をご覧ください。
- Bluetooth 機器によっては、手順 3 で機器が検索された後に PIN コードを入力する必要があります。
- 本機は Secure Simple Pairing（SSP）に対応しています。
- 一度ペアリングを行うと、本機をリセットしても、Bluetooth 機器は削除されません。登録された機器を削除するには、**“DEVICE DELETE”** をご覧ください。（➡ P.22）
- Bluetooth 機器によっては、ペアリングしても、本機に自動的に接続されない場合があります。そのときは、手動で接続してください。
- 電話帳を使用する場合は、ペアリングするときに接続する携帯電話の連絡先や通話履歴のアクセスを許可する設定にしてください。許可しない場合は本機で電話帳などが使用できません。iPhone の電話帳を本機で使用する場合は、ペアリングをした後に次の操作を行ってください。
  1. iPhoneのBluetooth画面で本機を選び「連絡先を同期」をオンにする
  2. 手順1の設定画面で「接続解除」にタッチして本機との接続を一旦解除する
  3. Bluetooth画面に戻りCUK-W69Dをタッチして本機と接続する

  転送後の電話帳の操作については 20 ページの **“PHONE BOOK”** をご覧ください。

オートペアリングを起動する

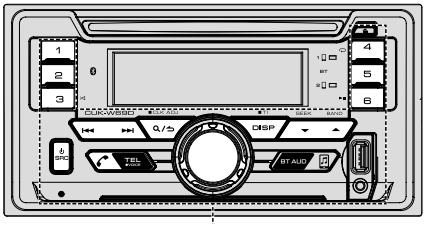
iPod/iPhone を USB 入力端子に接続すると Bluetooth のペアリングが自動的に起動します。

1 ペアリングするiPodまたはiPhoneのBluetooth設定をオンにする
2 ペアリングするiPodまたはiPhoneをUSB接続する
3 機器名を確認して、ボリュームノブを押す

オートペアリングは次のような場合にオンになります。

- 接続されている機器の Bluetooth 機能がオンになっている場合
- **"AUTO PAIRING"** が **"ON"** になっている場合（➜ P.22）

ハンズフリー電話として使う



KEY

電話を受ける

- 通話中に本機の電源を切ると、Bluetooth 接続が解除されます。
- 接続されている携帯電話によっては、以下の操作方法が異なったり、できないことがあります。

動作	操作パネル
電話を受けるには	
電話を受ける	[TEL]、ボリュームノブまたは [**1**] ～ [**6**] のどれかを押す
着信を拒否する	[Q/⮌] を押す
通話を終了する	[Q/⮌] を押す
通話中に	
通話中にいまの電話を保留して他の電話を受ける	[TEL] を押す
通話中に他の着信を拒否する	[Q/⮌] を押す
通話を切り替えるには	
現在の通話を終了し、保留中の電話に切り替える	[Q/⮌] を押す
現在の通話と保留中の電話を切り替える	[TEL] を押す
受話音量を調節する **"00 ～ 35"（初期設定："15"）**	通話中にボリュームノブを回す • ここで調節する音量は、他の音源の音量調節には影響しません。
普通通話モードとハンズフリー通話を切り替える	通話中に [**6**] を押す • 接続されている Bluetooth 機器によっては、操作方法が異なることがあります。

送話音質を調節する

1 通話中にボリュームノブを押して“**FUNCTION**”モードに入る
2 ボリュームノブを回して設定したい項目を選び、ボリュームノブを押す（下表参照）
3 手順**2**を繰り返して項目を選び、設定する

• [Q/⮌] を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。

初期設定：**XX**

MIC GAIN	**LEVEL –10** ～ **LEVEL +10**（**LEVEL 0**）：数値が大きくなるほど、マイクの感度が高くなります。
NR LEVEL	**LEVEL –5** ～ **LEVEL +5**（**LEVEL 0**）：通話中の雑音を低減するように調節します。
ECHO CANCEL	**LEVEL –5** ～ **LEVEL +5**（**LEVEL 0**）：通話時のエコーを低減するように調節します。

電話を受けるための設定をする

1 [ ]を押す
2 ボリュームノブを回して“**SETTINGS**”を選び、ボリュームノブを押す
3 ボリュームノブを回して設定したい項目を選び、ボリュームノブを押す（下表参照）
4 手順**3**を繰り返して項目を選び、設定する

• [Q/⮌] を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。

初期設定：**XX**

SETTINGS	
AUTO ANSWER	**1** ～ **30**：設定した時間（秒）が着信中に経過すると、自動的に電話を受けます。 **OFF**：この機能を使用しません。
BATT/SIGNAL	**AUTO**：本機のディスプレイに、接続された Bluetooth 機器のバッテリーの残量と受信電波の強さが表示されます。 **OFF**：この機能を使用しません。

電話をかける

電話番号を入力してダイヤルするだけでなく、履歴や電話帳から電話をかけることができます。音声認識機能に対応している携帯電話をお使いの場合は、音声で電話をかけることもできます。

1 [ ]を押す

機器名が表示されます。
- Bluetooth 搭載携帯電話が 2 台接続されている場合は、もう一度 [ ] 押すと 2 台目の機器名が表示されます。

2 ボリュームノブを回して電話をかける方法を選び、ボリュームノブを押す(下表参照)

3 手順**2**を繰り返して選んだ項目の説明に従って操作する

- [🔍/↩] を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。

HF MODE	
CALL HISTORY	(PBAP に対応していない携帯電話では使用できません) **1** ボリュームノブを押して名前または電話番号を選ぶ •"INCOMING"(着信)、"OUTGOING"(発信)、"MISSED"(未受信)の履歴タイプがディスプレイ下部に表示されます。 •[**DISP**] を押して "NUMBER(電話番号)" 表示か "NAME(名前)" 表示かを切り替えます。 • 履歴が記録されていないときは、"NO DATA" と表示されます。 **2** ボリュームノブを押して電話をかける
PHONE BOOK	(PBAP に対応していない携帯電話では使用できません) **1** ボリュームノブを素早く回す アルファベット検索モードになります。"A" ～ "K" までの文字がディスプレイに表示されます。 •"L" 以降の文字列("LMNOPQRSTUV" または "WXYZ1*")を表示するには、[▲]/[▼] を押します。 • 最初のアルファベットを選ぶには、ボリュームノブを回すか、[⏮]/[⏭] を押してからボリュームノブを押します。数字で始まる「名前」を選ぶときは、"1" を選びます。記号で始まる「名前」を選ぶときは、"*" を選びます。 **2** ボリュームノブを回して名前を選び、ボリュームノブを押す **3** ボリュームノブを回して電話番号を選び、ボリュームノブを押して電話をかける • ペアリング時に接続された携帯電話の電話帳が自動的に本機に転送されます。 • 連絡先は次のように分けられます:HOME(自宅)、OFFICE(勤務先)、MOBILE(携帯)、OTHER(その他)、GENERAL(一般) • 電話帳は標準的なアルファベットのみ表示できます。アクセント記号は表示できません("Ü" などは "U" と表示されます)。
NUMBER DIAL	**1** ボリュームノブを回して数字(0 ～ 9)、アルファベットまたは記号(*、#、+)を選ぶ **2** [⏮]/[⏭] を押して、入力の位置を移動する • 手順 **1** と手順 **2** を繰り返し、電話番号を入力します。 **3** ボリュームノブを押して電話をかける
VOICE	電話をかけたい相手の名前を言う ボイスコマンドを使い、電話の他の機能を利用することもできます。
BATT LOW/MID/FULL* : 電池の残量を表示します。	
NO SIGNAL/LOW/MID/MAX* : 現在受信している信号の強さを表示します。	

* お使いの携帯電話が対応しているときのみ使うことができます。

音声認識で電話をかける

1 [ ]を押し続ける

接続されている携帯電話から音声認識で電話をかけられるようになります。

2 電話をかけたい相手の名前を言う

ボイスコマンドを使い、電話の他の機能を利用することもできます。

- 対応している音声認識コマンドは携帯電話によって異なります。詳しくはお使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 本機は iPhone のインテリジェントパーソナルアシスタントにも対応しています。

連絡先を数字ボタンに登録する

連絡先を数字ボタン [**1**] ～ [**6**] に登録して、短縮ダイヤルとして利用できます。

1 [ ]を押す

2 ボリュームノブを回して**"CALL HISTORY"**、**"PHONE BOOK"**、または**"NUMBER DIAL"**を選び、ボリュームノブを押す

3 ボリュームノブを回して、名前を選ぶか、電話番号を入力する

名前を選んだ後、ボリュームノブを押すと、電話番号を表示させることができます。

4 連絡先を登録する数字ボタン([**1**] ～ [**6**])を押し続ける

連絡先が登録されると "STORED" というメッセージが表示されます。

- 登録した連絡先を数字ボタンから消去するには、手順 **2** で **"NUMBER DIAL"** を選び、手順 **3** で番号を入力せず、手順 **4** を行います。

登録されている番号に電話をかける

1 [ ]を押す

2 数字ボタン([**1**] ～ [**6**])押す

3 ボリュームノブを押して電話をかける

押した数字ボタンに連絡先が登録されていないときは、"NO MEMORY" というメッセージが表示されます。

Bluetooth 機能の設定をする

1 ボリュームノブを押して**"FUNCTION"**モードに入る
2 ボリュームノブを回して**"BT MODE"**を選び、ボリュームノブを押す（下表参照）
3 手順**2**を繰り返して項目を選び、選んだ項目の表中の指示に従って操作する

・[🔍/↩] を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。

初期設定：**XX**

BT MODE	
PHONE SELECT	ハンズフリー通話で使用する Bluetooth 携帯電話を表示します。ハンズフリー通話用の携帯電話は、機器名の前に " ✱ " が表示されます。 ハンズフリー通話用としては 2 台まで接続（着信を待ち受けている状態）できます。 **ハンズフリー通話用接続を解除したいときは** **1 "PHONE SELECT"** を表示して、ボリュームノブを回して接続を解除したい携帯電話を選び、ボリュームノブを押す **2** ボリュームノブを押して " ✱ " 表示を消す **ハンズフリー通話用として接続したいときは** **1 "PHONE SELECT"** を表示して、ボリュームノブを回して接続したい携帯電話を選び、ボリュームノブを押す **2** ボリュームノブを回して接続したい携帯電話を選び、ボリュームノブを押す ・選んだ機器名の前に " ✱ " が表示されハンズフリー通話用として接続できます。
AUDIO SELECT	音源を BT AUDIO として再生する Bluetooth オーディオ機器を表示します。BT AUDIO として再生する機器名の前に " ♪ " が表示されます **BT AUDIO 接続を解除したいときは** **1 "AUDIO SELECT"** を表示して、ボリュームノブを回して接続を解除したい携帯電話を選び、ボリュームノブを押す **2** ボリュームノブを押して " ♪ " 表示を消す **BT AUDIO として接続したいときは** **1 "AUDIO SELECT"** を表示して、ボリュームノブを回して接続したい携帯電話を選び、ボリュームノブを押す **2** ボリュームノブを回して接続したい携帯電話を選び、ボリュームノブを押す ・選んだ機器名の前に " ♪ " が表示され BT AUDIO として接続できます。
DEVICE DELETE	**1** ボリュームノブを回して削除する機器を選び、ボリュームノブを押す **2** ボリュームノブを回して **"YES"** または **"NO"** を選び、ボリュームノブを押す
PIN CODE EDIT（**0000**）	PIN コードを変更します（最大 6 桁まで）。 **1** ボリュームノブを回して数字を選ぶ **2** [I◀◀]/[▶▶I] を押して、入力の位置を移動する ・手順 **1** と手順 **2** を繰り返し、PIN コードを入力します。 **3** ボリュームノブを押して決定する
RECONNECT	**ON**/**OFF**：この機能をオンにすると、最後に接続された Bluetooth 機器が感知範囲内に入った場合に、自動的に再接続します。
AUTO PAIRING	**ON**：iPod/iPhone が USB 端子に接続された場合に自動的にペアリングします。接続された機器の OS によっては、この機能が使えないことがあります。 **OFF**：この機能を使用しません。
INITIALIZE	**YES**：Bluetooth の全設定（登録されたペアリング情報、電話帳など）を初期化します。 **NO**：この機能を使用しません。

Bluetooth テストモード

本機と Bluetooth 機器間で使用できるプロファイルを確認できます。
• Bluetooth 機器がペアリングされていないことを確認してください。

1 [ ]を押し続ける

"PLEASE PAIR YOUR PHONE PIN 0000"（電話をペアリングしてください PIN 0000）というメッセージが表示されます。

2 Bluetooth機器で本機の名称(CUK-W69D)を探して選ぶ

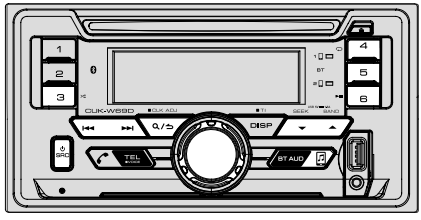
3 Bluetooth機器を操作してペアリングする

本機のディスプレイ上に **"TESTING"**（テスト中）のメッセージが点滅します。

テスト終了後、以下の項目に "OK" または "NG" のテスト結果が表示されます。
PAIRING ：ペアリングが可能か。
HF CNT ：ハンズフリー通話に対応しているか。
AUD CNT：オーディオ機器として A2DP プロファイルに対応しているか。
PB DL ：電話帳転送のための PBAP プロファイルに対応しているか。
テストモードを終了するには、[⏻ **SRC**] を押し続けて本機の電源をオフにします。

Bluetooth — オーディオ

BT AUDIO では、5 台の Bluetooth 機器を登録することができ、その中から 1 台を切り替えて選ぶことができます。



1 [ ]を押して**BT AUDIO**を選ぶ

2 Bluetoothオーディオ機器で再生を開始する

動作	操作パネル
再生 / 一時停止をする	[**6**]（▶❚❚）を押す
グループまたはフォルダーを選ぶ	[▲]/[▼] を押す
曲 / ファイルを選ぶ	[⏮]/[⏭] を押す
早戻し / 早送りをする	[⏮]/[⏭] を押し続ける
リピート再生をする	[**4**]（🔁）を繰り返し押す **ALL REPEAT**、**FILE REPEAT**、**REPEAT OFF**
ランダム再生をする	[**3**](🔀) を押し続けて、**ALL RANDOM** を選ぶ • ランダム再生を中止するには、[**3**](🔀) を押して **RANDOM OFF** を選びます。
フォルダーまたはリストからファイルを選ぶ	14 ページの「フォルダーまたはリストからファイルを選ぶ」をご覧ください。

動作	操作パネル
接続されている Bluetooth オーディオ機器を切り替える	[**5**] を押す ・接続したい Bluetooth 機器に切り替わらない場合は、22 ページの **"AUDIO SELECT"** から接続したい Bluetooth 機器を選択してください。

・Bluetooth オーディオ機器によっては、フォルダーまたはリストからのファイル選択や、再生方法 (スキップ操作やランダム再生モード切替など) を操作できない場合があります。

音質を設定する

音源が **STANDBY** 以外に選択されているときに設定できます。

1 ボリュームノブを押して**"FUNCTION"**モードに入る

2 ボリュームノブを回して**"AUDIO CONTROL"**を選び、ボリュームノブを押す

3 手順**2**を繰り返して項目を選び、選んだ項目の表中の指示に従って操作する

・[🔍/⮌] を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。

初期設定：**XX**

AUDIO CONTROL	
MANUAL EQ	音質（周波数、トーンレベル、Q ファクター）をお好みに合わせて調整します。 ・調整した設定は、**PRESET EQ** の **USER** に保存されます。
62.5HZ	
LEVEL	**LEVEL –9** ～ **LEVEL +9**（**LEVEL 0**）： 音源ごとに、保存されます。（調整する前に、調整したい音源を選んでください）
BASS EXTEND	**ON**/**OFF**：低音を響かせるか、どうかの設定をします。
100HZ/160HZ/250HZ/400HZ/630HZ/1KHZ/1.6KHZ/2.5KHZ/4KHZ/6.3KHZ/10KHZ/16KHZ	**LEVEL –9** ～ **LEVEL +9**（**LEVEL 0**）：音源ごとに、保存されます。（調整する前に、調整したい音源を選んでください）
Q FACTOR	**1.35**/**1.50**/**2.00**：Q ファクター（スロープ）を選びます。
PRESET EQ	**NATURAL**/**ROCK**/**POPS**/**EASY**/**TOP40**/**JAZZ**/**POWERFUL**/**USER**：音楽ジャンルに合った設定を選びます。（**USER** を選ぶと、**MANUAL EQ** の設定が利用できます）
BASS BOOST	**LEVEL1**/**LEVEL2**/**LEVEL3**/**LEVEL4**/**LEVEL5**/**OFF**：低音を 5 段階で調節します。
LOUDNESS	**LEVEL1**/**LEVEL2**/**OFF**：小さな音量で音楽を聞くときに不足しがちな低域と高域の音量を 2 段階で補正します。
FADER	**R15** ～ **F15**（**0**）：前後の音量バランスを調節します。
BALANCE	**L15** ～ **R15**（**0**）：左右の音量バランスを調節します。
VOLUME OFFSET	**–15** ～ **+6**（**0**）：各音源の音量を設定します。（調節をする前に、設定したい音源を選びます）

SOUND EFFECT	
DRIVE EQ	**ON**/**OFF**：この機能を使うと周波数をあげてロードノイズの影響を軽減することができます。
SOUND RECNSTR (Sound reconstruction)	(音源が RADIO および AUX のときは使用できません) **ON:** 圧縮オーディオで失われた高音域成分を補完してリアリティーのあるサウンドを再現します。 **OFF:** この機能は使用しません。
DTA SETTINGS	設定するには、**デジタルタイムアライメントの設定をする**（➜ P.25）をご覧ください。
CAR SETTINGS	

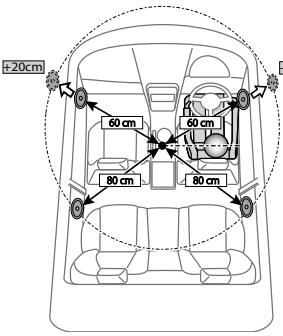
デジタルタイムアライメントの設定をする

デジタルタイムアライメントはスピーカーからの音声の遅延時間を調整して、すべてのスピーカーからの音声が正しいタイミングでリスナーに届くように、車両にあった音場を作ります。

- 設定については、**“DTA SETTINGS” の “DISTANCE” および “GAIN” の値を設定する**をご覧ください。（➜ P.26）

DTA SETTINGS	**“CAR SETTINGS”** で設定された値を調整します。
POSITION	リスニングポジション（基準点）を選びます。 **ALL**：全座席、**FRONT RIGHT**：右前座席、 **FRONT LEFT**：左前座席、**FRONT ALL**：前座席
DISTANCE	**0CM** ～ **610CM**：スピーカーまでの距離を正しく設定してください。（距離を設定する前に、設定するスピーカーを選んでください）
GAIN	**–8DB** ～ **0DB**：選択したスピーカーの出力レベルを正しく調節します。（調節する前に、スピーカーを選んでください）
DTA RESET	**YES**：選択した **“POSITION”** の（**“DISTANCE”** と **“GAIN”**）を初期値に戻します。 **NO**：この機能を使用しません。
CAR SETTINGS	車両タイプとリアスピーカーの位置を選ぶことで **“DTA SETTINGS”** の **DISTANCE** と **GAIN** の値を計算し設定します。
CAR TYPE	**COMPACT**/**FULL SIZE CAR**/**WAGON**/**MINIVAN**/**SUV**/**MINIVAN(LONG)**：車両タイプを選びます。 **OFF**：車両タイプを選びません。
R-SP LOCATION	リアスピーカーの位置を選びます。 • **DOOR**/**REAR DECK**：**“CAR TYPE”** が **“OFF”**、**“COMPACT”**、**“FULL SIZE CAR”**、**“WAGON”** または **“SUV”** になっているときのみ選べます。 • **2ND ROW**/**3RD ROW**：**“CAR TYPE”** が **“MINIVAN”** または **“MINIVAN(LONG)”** になっているときのみ選べます。

“DTA SETTINGS”の“DISTANCE”および“GAIN”の値を設定する

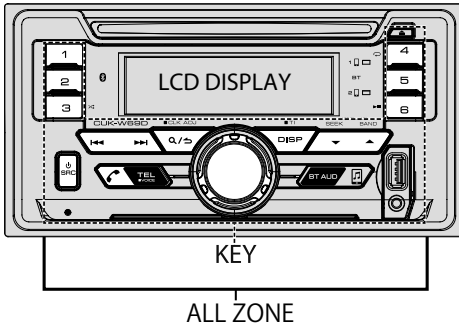


現在選んでいるリスニングポジションからすべてのスピーカーまでの距離を設定すると、ディレイタイムが自動的に計算されます。

1 **“POSITION”** を設定し、基準点としてリスニングポジションを決定する（**“FRONT ALL”** の基準点は左右の中央となります）
2 基準点からスピーカーまでの距離を測る
3 最も遠くにあるスピーカー（図ではリア）と他のスピーカーとの距離を計算する
4 手順 **3** で計算した距離を **“DISTANCE”** のそれぞれのスピーカーに設定する
5 それぞれのスピーカーの **“GAIN”** を調節する

例：**“FRONT ALL”** がリスニングポジションとして選ばれている場合

ディスプレイの表示を設定する



ディスプレイの設定をする

1 ボリュームノブを押して**“FUNCTION”**モードに入る
2 ボリュームノブを回して**“DISPLAY”**を選び、ボリュームノブを押す
3 手順**2**を繰り返して項目を選び、選んだ項目の表中の指示に従って操作する

• [🔍/⮌] を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。

初期設定：**XX**

DISPLAY	
BRIGHTNESS	**1** 明るさを設定するエリア（**ALL ZONE / LCD DISPLAY / KEY**）を選ぶ **2** お好みの明るさに（**0** ～ **31**）する
TEXT SCROLL	**AUTO**/**ONCE**：ディスプレイに一度で表示しきれない文字情報を、繰り返しスクロールして表示するか（AUTO）、一度だけスクロールして表示するか(ONCE) を設定します。 **OFF**：この機能を使用しません。

ディスプレイの表示を変更する

[**DISP**] を押すと、表示される情報が変わります。

• 情報がない場合、または記録されていない場合は “NO TEXT” または “NO INFO”、その他の情報（放送局や再生時間など）が表示されます。

音源	ディスプレイ表示の内容
STANDBY	日付 *
RADIO	バンドと周波数 / 日付 *
CD または USB 機器	**（音楽 CD の場合）** トラック名 / アーティスト名 ➡ トラック名 / ディスク名 ➡ トラック名 / 日付 * ➡ 再生時間 / 日付 * ➡（最初に戻る）
	（MP3/WMA/WAV/FLAC ファイル） 曲名 / アーティスト名 ➡ 曲名 / アルバム名 ➡ 曲名 / 日付 * ➡ ファイル名 / フォルダー名 ➡ ファイル名 / 日付 * ➡ 再生時間 / 日付 * ➡（最初に戻る）
IPOD USB/IPOD BT	iPod 操作モードが **“MODE OFF”** のときのみ（➜ P.13） 曲名 / アーティスト名 ➡ 曲名 / アルバム名 ➡ 曲名 / 日付 * ➡ 再生時間 / 日付 * ➡（最初に戻る）
ANDROID	曲などの情報は表示されません。
BT AUDIO	曲名 / アーティスト名 ➡ 曲名 / アルバム名 ➡ 曲名 / 日付 * ➡ 再生時間 / 日付 * ➡（最初に戻る）
AUX	日付 *

* **“BATT/SIGNAL”** が **“AUTO”** に設定されている場合、Bluetooth の電池および電波の強さが表示されます。（➜ P.19）

設定を変更する

1 [⏻ **SRC**]を繰り返し押してSTANDBYを選ぶ
2 ボリュームノブを押して"**FUNCTION**"モードに入る
3 ボリュームノブを回して設定したい項目を選び、ボリュームノブを押す
4 手順**3**を繰り返して項目を選び、設定する

• [🔍/↩] を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。

初期設定：**XX**

DISPLAY	
BRIGHTNESS	明るさを設定するエリアを選んで（**ALL ZONE**/**LCD DISPLAY**/**KEY**）明るさを（**0** ～ **31**）設定します。
TEXT SCROLL	**AUTO**/**ONCE**：ディスプレイに一度で表示しきれない文字情報を、繰り返しスクロールして表示するか（AUTO）、一度だけスクロールして表示するか（ONCE）を設定します。 **OFF**：この機能を使用しません。
TUNER SETTING	
PRESET TYPE	**NORMAL**：バンドごとに、6 つの放送局を登録できます。 **MIX**：バンドに関係なく、6 つの放送局を登録できます。
BT MODE	設定項目と設定については 22 ページをご覧ください。
SYSTEM	
KEY BEEP	**ON**/**OFF**：操作時のビープ音をオン / オフにします。
SOURCE SELECT	
BUILT-IN AUX	**ON**/**OFF**：この機能をオンにすると AUX（外部機器）を音源として選べるようになります。（➜ P.16）
CD READ	**1**：自動的にオーディオファイルのディスクと音楽 CD を識別します。 **2**：音楽 CD を再生します。オーディオファイルのディスクが再生されたときは、音は出ません。
F/W UPDATE	
UPDATE SYSTEM	
F/W UP XXX	この機能は使用しません。
FACTORY RESET	**YES**/**NO**：**YES** を選択すると設定がお買い上げ時に戻ります。（登録した放送局を除く）
CLOCK	
CLOCK ADJUST	時刻を設定します。設定項目と設定については 8 ページをご覧ください。
DATE FORMAT	年月日の表示方法を設定します。 設定項目と設定については 8 ページをご覧ください。

DATE SET	日付を設定します。設定については 8 ページをご覧ください。
CLOCK FORMAT	**12H**/**24H**：12 時間表示または 24 時間表示を設定します。
CLOCK DISPLAY	**ON**/**OFF**：本機の電源がオフのときでも、時計を表示します。

- STANDBY 以外の音源が選ばれているときは **"CLOCK"** の次に **"AUDIO CONTROL"** が表示されます。設定項目と設定については 24 ページをご覧ください。
- 音源が、**IPOD BT** または **IPOD USB** のときは、**"DISPLAY"** の次に **"USB"** が表示され、**"SKIP SEARCH"** が表示されます。設定については 24 ページをご覧ください。
- 音源が、**USB** のときは、**"DISPLAY"** の次に **"USB"** が表示され、**"MUSIC DRIVE"** が表示されます。設定については 14 ページをご覧ください。
- 音源が、**TUNER** のときは、**"TUNER SETTING"** の設定項目が **"AUTO MEMORY"** と **"MONO SET"** になります。設定については 10 ページをご覧ください。
- 音源が、**AUX** のときは、**"SYSTEM"** の次に **"AUX NAME SET"** が表示されます。設定については 16 ページをご覧ください。

その他の情報

再生できるファイル

- 再生可能なオーディオファイル：
  ディスクについて：MP3（.mp3）、WMA（.wma）
  USB マスストレージクラス機器：MP3（.mp3）、WMA（.wma）、WAV（.wav）、FLAC（.flac）
- 再生可能なディスク：CD-R/CD-RW/CD-ROM
- 再生可能なディスクのフォーマット：ISO 9660 Level 1/2、Joliet、Long file name
- 再生可能な USB 機器ファイルシステム：FAT12、FAT16、FAT32

オーディオファイルが上記に対応していても、メディアや機器のタイプや状況により再生できないことがあります。
iTunes でエンコードされた AAC（.m4a）ファイルは本機では再生できません。

USB 機器について

- USB ハブを介して USB 機器を接続することはできません。
- 全長 5m 以上の USB ケーブルを使っているときは、再生不良の原因となります。
- 消費電流が 1.5A 以上の USB 機器は接続しないでください。接続すると故障する可能性があります。

Android について

- 本機は Android OS 4.1 以降に対応しています。
- Android によっては OS が 4.1 以降であっても、AOA 2.0 に対応していないことがあります。
- お使いの Android がマスストレージクラス機器と AOA 2.0 の両方に対応しているときは、優先的に AOA 2.0 で再生されます。

iPod または iPhone について

Made for
- iPod touch（6th generation）
- iPhone 5、5S、5C、6、6 Plus、6S、6S Plus、SE、7、7 Plus、8、8 Plus、X

- iPod に "✔" と表示されているときは、iPod の操作はできません。
- iPod または iPhone の OS のバージョンによっては、本機では働かない機能があります。

故障かな？と思ったら

症状		対処方法
一般	音が出ない	音量を調節してください。音量を調節しても音が出ない場合はお買い上げの販売店にご相談ください。
	“MISWIRING CHECK WIRING THEN PWR ON” と表示される	お買い上げの販売店にご相談ください。
	“PROTECTING SEND SERVICE” と表示される	お買い上げの販売店にご相談ください。
	本機が動作しない	本機をリセットしてください。（➜ P.6）リセットしても動作しない場合はお買い上げの販売店にご相談ください。
ラジオ	• ラジオの感度が悪い • ラジオに雑音が入る	お買い上げの販売店にご相談ください。
CD/USB/iPod	ディスクが取り出せない	ディスクが完全に排出されるまで [⏏] を押し続けてください（ディスクが排出されるときに、ディスクを落とさないように気をつけてください）。それでも取り出せないときは、本機をリセットしてください。（➜ P.6）
	雑音が入る	他の曲を選ぶか、ディスクを取り替えてください。ディスクを取り替えても雑音が入る場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	思う順に曲が再生できない	ファイルが保存された時点で再生の曲順が決まります。
	“READING” が点滅し続ける	収録されているデータのフォルダーの階層が深い、またはフォルダー数が多過ぎます。
	経過時間が正確でない	曲の録音のしかたによります。
	[🔍/⮌] を押して検索モードに入ると “LOADING” と表示される	本機が iPod または iPhone のミュージックリストを準備しています。時間がかかる場合があります。時間をおいて試してください。
	ディスプレイの表示が正確でない（アルバム名など）	本機は英大文字と数字しか表示できません。
	“NA FILE”	再生できるファイルがあることを確認してください。（➜ P.29）
	“NO DISC”	再生可能なディスクをディスク挿入口に入れてください。
	“TOC ERROR”	ディスクのクリーニングをして、正しい向きで挿入し直してください。
	“PLEASE EJECT”	本機をリセットしてください。（➜ P.6）それでもエラーメッセージが表示されるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
	“NO DEVICE”	USB 機器を接続し、もう一度、音源を USB にしてください。
	“COPY PRO”	ファイルがコピープロテクトされています。
	“UNSUPPORTED DEVICE”	• 接続している機器が本機に対応しているか、ファイルフォーマットがシステムに対応しているかを確認してください。（➜ P.29） • 機器を接続し直してください。

症状		対処方法
CD/USB/iPod	"UNRESPONSIVE DEVICE"	機器が正常に動作するかを確認して、機器を接続し直してください。
	"USB HUB IS NOT SUPPORTED"	本機では USB ハブを介して接続されている USB 機器は使えません。
	• 他の音源を聞いているときに USB 機器を接続しても、音源が "USB" に切り替わらない • "USB ERROR" が表示される	USB ポートが制限以上に電源を使っています。本機の電源をオフにして、USB 機器を取りはずし、もう一度電源をオンにして USB 機器を接続し直してください。それでも問題が解決しない場合は、本機の電源をオフにして、もう一度オンにして（またはリセットして）から他の USB 機器を接続してください。
	"NO MUSIC"	再生可能なオーディオファイルが記録された USB 機器を接続してください。
	"iPod ERROR"	• iPod を接続し直してください。 • iPod をリセットしてください。
Android	• 音が出ない • Android の音しか出ない	• Android を接続し直してください。 • Android を再起動してください。 • 接続している Android から本機にオーディオ信号が送られていません。
	"NO DEVICE" または "READING" が点滅し続ける	• Android の開発者向けオプションをオフにしてください。 • Android を接続し直してください。 • それでも問題が解決しない場合は、接続している Android が、本機に対応していません。
	再生時に音が飛んだり、途切れる	Android の節電モードをオフにしてください。
	"ANDROID ERROR"/ "NA DEVICE"	• Android を接続し直してください。 • Android を再起動してください。

	症状	対処方法
Bluetooth	Bluetooth 機器が検出されない	• Bluetooth 機器から、再度検出してください。 • 本機をリセットしてください。（➜ P.6）
	Bluetooth 機器とのペアリングができない	• 本機と Bluetooth 機器に同じ PIN コードが入力されていることを確認してください。 • 本機と Bluetooth 機器からペアリングの情報を削除し、もう一度、ペアリングを実行してください。（➜ P.17）
	通話中にエコーがかかる、または雑音が入る	• マイクの角度を調節してください。 • **“ECHO CANCEL”** の設定を確認してください。（➜ P.19）
	通話品質が悪い	• Bluetooth 機器を本機に近づけてください。 • 車両を電波状況の良い場所に移動させてください。
	音声やボイスコマンドが正しく認識されない	• 静かな場所でマイクに向かって発声してください。 • マイクの近くで話してください。 • 音声を事前に登録する必要がある機器では登録者の声のみ認識します。
	Bluetooth オーディオプレーヤーの再生中に音が飛んだり、途切れる	• Bluetooth 機器を本機に近づけてください。 • 本機の電源をオフにして、またオンにして接続し直してください。 • 他の Bluetooth 機器の電源をオフにするか、Bluetooth 機器を遠ざけてください。
	接続した Bluetooth 機器が操作できない	• 接続されている Bluetooth 機器が Audio/Video Remote Control Profile（AVRCP）に対応しているかを確認してください。（お使いのオーディオプレーヤーの取扱説明書をご覧ください） • Bluetooth 機器を接続し直してください。
	“DEVICE FULL”	Bluetooth 機器をこれ以上登録できません。使用していない機器の登録を削除してから、やり直してください。 （➜ P.22、**DEVICE DELETE**）
	“N/A VOICE TAG”	音声を事前に登録する必要がある機器では登録者の声のみ認識します。
	“NOT SUPPORT”	携帯電話が音声認識または電話帳転送に対応していません。
	“NO ENTRY”/“NO PAIR”	登録済の機器が接続されていません。
	“ERROR”	もう一度操作をしてください。“ERROR” が再度表示されたときは、お使いの機器が利用しようとしている機能に対応しているか確認してください。
	“NO INFO”/“NO DATA”	電話番号などの連絡先のデータがありません。
	“HF ERROR XX”/ “BT ERROR”	本機をリセットしてもう一度操作してください。それでもエラーメッセージが表示されるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
	“SWITCHING NG”	接続されている携帯電話はこの機能に対応していません。

仕様

● チューナー部

FM　受信周波数範囲	76.0 MHz ～ 99.0 MHz（0.1 MHz）
AM　受信周波数範囲	522 kHz ～ 1629 kHz（9 kHz）

● CD プレーヤー部

MP3 デコード	MPEG-1/2 Audio Layer-3 準拠
WMA デコード	Windows Media Audio 準拠

● USB I/F 部

USB 規格	USB 1.1/ 2.0（Full speed）
ファイルシステム	FAT12/16/32
最大供給電流	DC 5 V ⎓ 1.5 A
MP3 デコード	MPEG-1/2 Audio Layer-3 準拠
WMA デコード	Windows Media Audio 準拠
WAV デコード	リニア PCM（44.1kHz/16bit）
FLAC デコード	FLAC ファイル（96kHz/24bit まで対応）

● Bluetooth 部

プロファイル	HFP, PBAP, A2DP, AVRCP, SPP
対応コーデック	SBC
SCMS-T	対応

● AUX 入力

入力最大電圧	1000 mV

● オーディオ部

最大出力	50 W × 4
定格出力	30 W × 4 （4 Ω、1 kHz、10 % THD 以下）
スピーカーインピーダンス	4 Ω～8 Ω

● 電源 / 寸法 / 質量

電源電圧	14.4 V（10.5 V ～ 16 V）
最大消費電流	10 A
使用温度範囲	–10 ℃ ～ +60 ℃
本体	外形寸法（W × H × D）206 mm × 104 mm × 180 mm
	埋込寸法（W × H × D）178 mm × 100 mm × 158 mm
	質量 (重さ)1.350 g

仕様およびデザインは、予告なく変わる場合があります。

保証とアフターサービス

■ 保証について

保証書	この製品には、保証書を別途添付しております。 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

■ 修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」（➜ P.30）を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

保証期間中は…
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後は…
お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。
補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

特許権 / 著作権 / 商標など

- Microsoft and Windows Media are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
- Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple product(s) identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.
- Apple, iPhone, iPod, iPod touch, iTunes, and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. The trademark “iPhone” is used in Japan with a license from Aiphone K.K.
- IOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC の登録商標で、株式会社JVCケンウッドはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- Android is trademark of Google LLC.

ソフトウェアについて

-jansson
Copyright (c) 2009-2012 Petri Lehtinen <petri@digip.org>
Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:
The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.
THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

-CMP
The MIT License (MIT)
Copyright (c) 2014 Charles Gunyon
Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated
documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:
The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.
THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING
BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

-cJSON
Copyright (c) 2009 Dave Gamble
Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:
The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.
THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION

OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

---

sha2
AUTHOR: Aaron D. Gifford - http://www.aarongifford.com/

Copyright (c) 2000-2001, Aaron D. Gifford
All rights reserved.

You may obtain a copy of the license at
https://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Posix
Copyright (c) 1990, 1993
The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1.Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2.Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3.All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

Copyright (C) 1993 by Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.

Developed at SunPro, a Sun Microsystems, Inc. business.
Permission to use, copy, modify, and distribute this software is freely granted, provided that this notice is preserved.

Copyright (C) 1991-2, RSA Data Security, Inc. Created 1991. All rights reserved.

License to copy and use this software is granted provided that it is identified as the "RSA Data Security, Inc. MD4 Message-Digest
Algorithm" in all material mentioning or referencing this software or this function.

Copyright (c) 1995, 1996 Carnegie-Mellon University.
All rights reserved.

Author: Chris G. Demetriou

Permission to use, copy, modify and distribute this software and its documentation is hereby granted, provided that both the copyright notice and this permission notice appear in all copies of the software, derivative works or modified versions, and any portions thereof, and that both notices appear in supporting documentation.

CARNEGIE MELLON ALLOWS FREE USE OF THIS SOFTWARE IN ITS "AS IS" CONDITION. CARNEGIE MELLON DISCLAIMS ANY LIABILITY OF ANY KIND FOR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM THE USE OF THIS SOFTWARE.

Carnegie Mellon requests users of this software to return to

Software Distribution Coordinator or Software.Distribution@CS.CMU.EDU
School of Computer Science
Carnegie Mellon University
Pittsburgh PA 15213-3890

any improvements or extensions that they make and grant Carnegie the rights to redistribute these changes. License is also granted to make and use derivative works provided that such works are identified as "derived from the RSA Data Security, Inc. MD4 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing the derived work.

RSA Data Security, Inc. makes no representations concerning either the merchantability of this software or the suitability of this software for any particular purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty of any kind.

Copyright (c) 1993 Martin Birgmeier
All rights reserved.

You may redistribute unmodified or modified versions of this source code provided that the above copyright notice and this and the following conditions are retained.

This software is provided ``as is'', and comes with no warranties of any kind. I shall in no event be liable for anything that happens to anyone/anything when using this software. These notices must be retained in any copies of any part of this documentation and/or software.

T-Kernel 2.0
This product uses the source code of T-Kernel 2.0 under T-License 2.0 granted by T-Engine Forum (www.tron.org)

BSD-3-Clause
Copyright (c) 2000-2001, Aaron D. Gifford All rights reserved.
You may obtain a copy of the license at https://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

LFS Subsystem
Copyright The Regents of the University of California. All rights reserved.

You may obtain a copy of the license at
https://directory.fsf.org/wiki/License:BSD-4-Clause

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE,
ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Accordo2 Player
Apache License
Licensed under the Apache License,
Version 2.0, January 2004(the "License");
You may obtain a copy of the license at
http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

発売元

ダイハツ工業株式会社